

- 道路政策のビジョン「2040年、道路の景色が変わる」にて、道路を人々が滞在し交流できる空間に回帰することが提示。
- 「道路空間を街の活性化に活用したい」等、道路への新たなニーズを実現するため、人中心の道路空間を構築する“ほこみち”制度を2020年11月に創設。
- 歩道に加えて、路肩等の柔軟な利活用、さらには道路全断面で歩行者優先で通行できる道路など、人中心の道路を実現する空間の創出について検討。

ほこみち（歩行者利便増進道路）



路肩等の柔軟な利活用 (カーブサイドマネジメント)



歩行者専用

人中心の空間として再生した、
まちのメインストリート



全断面活用

歩行者と車両が共存する空間づくり

